

飲料水標準液

Agilent ULTRA 標準物質カタログ



目次

はじめに	3	EPA メソッド 524.2、524.3、524.4	19
アジレントの標準物質について	3	安全飲料水法	20
製品	3	EPA メソッド 525.1	21
市場	3	EPA メソッド 525.2	22
カスタム製品	3	EPA メソッド 526	23
QC ラボ	4	EPA メソッド 527	24
品質管理バリデーションレベル	4	EPA メソッド 528	25
3つの認証	5	EPA メソッド 529	26
レベル 2 標準物質分析証明書	6	EPA メソッド 531.1、531.2	27
GHS コンプライアンス	7	EPA メソッド 532	28
		EPA メソッド 535	29
		EPA メソッド 536	30
EPA メソッド		EPA メソッド 539	31
EPA メソッド 501	8	EPA メソッド 547	32
EPA メソッド 502.2	9	EPA メソッド 548、548.1	32
EPA メソッド 503.1	10	EPA メソッド 549.2	33
EPA メソッド 504、504.1	11	EPA メソッド 550、550.1	33
EPA メソッド 505	12	EPA メソッド 551.1	34
EPA メソッド 506	13	EPA メソッド 552、552.1、552.2、552.3	35
EPA メソッド 507	14	EPA メソッド 553	36
EPA メソッド 508、508.1	15	EPA メソッド 554	37
EPA メソッド 508A	15	EPA メソッド 555	37
EPA メソッド 509	16	EPA メソッド 556、556.1	38
EPA メソッド 515.1、515.2、515.3、515.4	17	EPA メソッド 557	38
EPA メソッド 521	18		
EPA メソッド 523	18	アジレントのサービスとサポート	39

アジレントの標準物質について

アジレントはクロマトグラフィーと分光分析のグローバルリーダーであり、標準物質製造のエキスパートでもあります。機器、カラム、サンプル前処理製品、消耗品、サービスの充実したラインアップを補完するために、認証標準物質、QC 標準、試薬、バッファを提供しています。アジレントのポートフォリオを活用することで、効率的で正確な分析結果を得られる包括的なワークフローソリューションが実現します。

アジレントは多様な標準物質を取り揃えており、厳格な仕様に沿ったカスタム標準の設計と製造の専門知識も有しています。アジレント製品はグローバルな流通チャネルを通して提供され、アジレントのロジスティクス機能によって、すべてのご注文が迅速に処理されます。

計測科学の技術的専門知識を 40 年以上にわたり培ってきたアジレントは、革新的かつ高品質な製品を提供して、全世界のラボの分析化学ワークフロー全体を支援しています。

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

製品

- 認証標準物質 (CRM)
- 標準物質 (RM)
- 標準液
- IQ/OQ/PQ 標準
- 直線性標準
- 品質チェックサンプル
- バッファと試薬
- 洗浄溶液と希釈液

市場

環境分析

- 石油化学
- PCB/PBB
- ハロカーボン
- VOC/セミ VOC
- 農薬
- ダイオキシンとフラン

食品

- アレルゲン
- アミノとニトロ芳香族
- 医薬品と動物用医薬品
- PAH
- 脂質
- 食品の品質保証
- フェノール
- 着色料

ライフサイエンス

- 医薬品
- バイオ医薬品
- 学術および研究
- 大学
- 政府機関

産業および鉱業

石油化学

- マトリックスオイル
- バイオディーゼル中の金属
- 有機金属

元素分析

- 単元素
- 多元素

カスタム製品 (2019 年 6 月発売予定)

ラボや試験手順に固有の特別な標準物質や、その他の化学溶液が必要になる場合もあります。お求めの標準物質がアジレント製品にない場合は、お客様のご希望の仕様のものご用意いたします。カスタム標準物質により、ラボ固有のニーズに迅速かつ経済的に応えることができます。

アジレントは、40 年分の製造データと品質管理データが蓄積された大規模な互換性データベースを運用して、安定性と信頼性に優れた個別仕様の製剤を生み出しています。アジレントの品質管理バリデーションの 3 つのレベル (4 ページ参照) からお選びいただけます。

QC ラボ

アジレントは ISO 17025 認証取得済みの QC ラボを運用しており、認証標準物質 (CRM) 製造の標準物質生産者として ISO Guide 34 の認定も取得しています。

以下のアプリケーション開発グループの専門知識をご活用いただけます。

- メソッド開発
- プレフィルおよびポストフィル分析
- 安定性試験およびプロトコル
- 均質性試験



品質管理バリデーションレベル

アジレントが製造する標準物質には、該当する品質管理バリデーションレベルを反映したロット別の分析証明書 (CoA) が付属しています。分析証明書は製品に付属しており、ホームページからも参照できます。特に記載がない限り、すべてのアジレント製品はレベル II - ISO Guide 34 の標準物質です。

	報告値	報告された不 確実性	旧称	溶液	非希釈	リードタイム (カスタム)	
レベル I	ISO Guide 34 RM	真値 (計算)	U_{char}	重量測定	Y	Y	お問い合わせください
レベル II	ISO Guide 34 RM	真値 (分析)	U_{char}	フルバリデーション	Y	Y	お問い合わせください
レベル III	ISO Guide 34	認証値	U_{exp}	ISO Guide 34	Y		お問い合わせください

レベル I 溶液: ISO Guide 34 に従って、ISO 9001 に登録されたアジレントの品質システムの下で重量法により調製された標準物質 (RM: reference material) です。この製品に用いられる非希釈材料は、アジレントの ISO 17025 ラボにより、アジレントの ISO Guide 34 認証の下で検証されます。各成分について、真値とともに、信頼度 95% で計算された不確実性値が報告されます。

レベル I 非希釈物: ISO Guide 34 に従って、ISO 9001 に登録されたアジレントの品質システムの下で調製された RM です。真値 (% 純度) が報告されます。

レベル II 溶液: ISO Guide 34 に従って、ISO 9001 に登録されたアジレントの品質システムの下で重量法により調製された RM です。この製品に用いられる非希釈材料は、アジレントの ISO 17025 ラボにより、アジレントの ISO Guide 34 認証の下で検証されます。成分濃度は、アジレントの ISO 17025 認定ラボで検証されます。各成分について、真値とともに、信頼度 95% で計算された不確実性値が報告されます。

レベル II 非希釈物: ISO Guide 34 に従って、ISO 9001 に登録されたアジレントの品質システムの下で調製された RM です。この製品に用いられる材料は、アジレントの ISO 17025 ラボにより、アジレントの ISO Guide 34 認定の下で検証されます。真値 (% 純度) と、信頼度 95% で計算された不確かさ値が報告されます。

レベル III 溶液: ISO Guide 34 に従って、ISO 9001 に登録されたアジレントの品質システムの下で重量法により調製された RM です。この製品に用いられる非希釈材料は、アジレントの ISO 17025 ラボにより、アジレントの ISO Guide 34 認定の下で検証されます。成分濃度は、アジレントの ISO 17025 認定ラボで検証されます。各成分の認証値は、ISO Guide 35 に従って、拡張不確かさとして計算された不確かさ値とともに報告されます。

3 つの認証

アジレントは 3 つの ISO 標準の証明を保証することで、お客様に製品の完全性をお約束しています。

アジレントは ISO 9001 に登録済みの品質管理システムに基づいて事業を展開しており、アジレントのメソッド、手順、検査、生産、記録保管の品質は認証団体 (TUV) によって証明されています。

アジレントの QC ラボは、有機物質と無機物質、認証標準物質の検査実施の技術的能力に関して、ISO 17025 (ANAB) の認定を取得しています。適用範囲については、オンライン (www.agilent.com/chem/17025) でご覧いただけます。

さらに、アジレントは認証標準物質の標準物質生産者としての技術的能力に関して、ISO Guide 34 (ANAB) の認定も取得しています。これによりアジレントは、均質性、短長期の安定性、特性解析と製造上の不確かさなど、不確かさの主要要素を特定し、文書化することを求められています。

アジレントの最新の証明書については、www.agilent.com/quality をご覧ください。

ヒントとツール

7,000 種類を超えるアジレントの標準物質はすべて、ISO 17025 Guide 34 の下で製造されています。
www.agilent.com/chem/standards で全製品をご覧いただけます。

レベル 2 標準物質の分析証明書

Analyte	CAS#	Analyte Lot	True Value
methyl butanoate	000623-42-7	RM04575	1005 ± 5 µg/mL
methyl hexanoate	000106-70-7	NT01630	1005 ± 5 µg/mL
methyl octanoate	000111-11-5	NT01094	1003 ± 5 µg/mL
methyl decanoate	000110-42-9	NT00187	1004 ± 5 µg/mL
methyl laurate	000111-82-0	NT01095	1003 ± 5 µg/mL
methyl tetradecanoate	000124-10-7	NT00188	1003 ± 5 µg/mL
methyl palmitate	000112-39-0	RM07128	1001 ± 5 µg/mL
methyl octadecanoate	000112-61-8	RM12285	1002 ± 5 µg/mL
methyl arachidate	001120-28-1	RM11588	1003 ± 5 µg/mL
methyl docosanoate	000929-77-1	NT01096	1004 ± 5 µg/mL
tetracosanoic acid methyl ester	002442-49-1	NT01097	1004 ± 5 µg/mL


Matrix: hexane

Storage: Store Refrigerated (2° - 8°C).


Agilent uses balances calibrated with weights traceable to NIST in compliance with ANSI/NCCL Z-540-1 and ISO 9001, and calibrated Class A glassware in the manufacturing of these standards.

Monica Bourgeois
Monica Bourgeois
QMS Representative

Produced in accordance with TUV USA Inc 56 100 18560026
registered ISO 9001 Quality Management System



ISO Guide 34 Cert No.
AR-1936



ISO17025 Cert No.
AT-1937

250 Smith Street North Kingstown, Rhode Island 02852 www.agilent.com/quality

アジレント標準物質の分析証明書の例

GHS コンプライアンス

アジレントは SDS および GHS 準拠ラベリングに関する認定 GHS 作成者です。アジレントが製造販売する化学製品は、化学の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) に適合しています。安全性データシート (SDS) とラベルは、法規制に則り、以下に示す言語を用いて作成されます。

欧州 CLP 規則

規則 1272/2008

- 中国語 (標準中国語)
- イタリア語
- チェコ語
- 日本語
- デンマーク語
- 韓国語
- オランダ語
- ポーランド語
- 英語
- ポルトガル語
- エストニア語
- ルーマニア語
- フィンランド語
- ロシア語
- フランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- スウェーデン語

USA GHS-OSHA 規制

Hazcom 2012

- 英語
- スペイン語
- フランス語

中国 GHS 規制

GB/T 17519-2013 および
GB/T 16483-2008

- 中国語
(標準中国語)
- 英語

ご要望に応じて、言語を追加いたします。

規制の更新や追加に応じて、ホームページ (www.agilent.com) の情報を最新のものに更新します。

ヒントとツール

7,000 種類を超えるアジレントの標準物質はすべて、ISO 17025 Guide 34 の下で製造されています。

www.agilent.com/chem/standards で全製品をご覧ください。

EPA メソッド 501

トリハロメタン

メソッド 501 は、GC/ECD を用いてトリハロメタンの総量を測定するパーミアントラップメソッドです。これらの標準物質はメソッド 501.1、501.2、501.3 に使用できます。

推奨メソッド 501 トリハロメタン混合物

説明	成分	総容量	部品番号 100 µg/mL	部品番号 200 µg/mL	部品番号 2,000 µg/mL	部品番号 5,000 µg/mL
4 成分、メタノール溶液	ブロモジクロロメタン ブロモホルム クロロホルム ジブロモクロロメタン	1 x 1 mL	THM-501N-1	THM-511-1	THM-515-1	THM-521-1

性能確認用混合物

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、2,000 µg/mL、 メタノール溶液	ベンゼン 四塩化炭素 1,4-ジクロロベンゼン 1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエテン 1,1,1-トリクロロエタン トリクロロエテン 塩化ビニル	1 x 1 mL EPA - 100A-1

VOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号
12 成分、200 µg/mL、 メタノール溶液	クロロベンゼン 1,2-ジクロロベンゼン <i>cis</i> -1,2-ジクロロエテン <i>trans</i> -1,2-ジクロロエテン 1,2-ジクロロプロパン エチルベンゼン	<i>o</i> -キシレン <i>m</i> -キシレン <i>p</i> -キシレン スチレン テトラクロロエテン トルエン	1 x 1 mL DWM-591A-1

トリハロメタンキット

説明	キット構成	総容量	部品番号
5 アンプル、 100 µg/mL、メタノール溶液	ブロモジクロロメタン ブロモホルム およびトリハロメタン混合物 (THM-501N-1)	クロロホルム ジブロモクロロメタン	1 x 1 mL THK-501

推奨標準物質

メソッド 501	部品番号
標準液	THM-501N-1 THM-511-1 THM-521-1

EPA メソッド 502.2

揮発性有機化合物

EPA メソッド 502.2 は、502.1 を強化および拡張したものです。パーミアントラップ GC メソッドですが、キャピラリカラムを用いてより効率的な分離を検出することができます。検出は光イオン化検出器を用いて、電気伝導度検出器または微量電量検出器のいずれかを接続して行われ、対象成分全 60 種を測定することができます。

推奨メソッド 502.2 VOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号 200 µg/mL	部品番号 2,000 µg/mL
60 成分、 メタノール溶液	ベンゼン	1,1-ジクロロエタン	o-キシレン	1 x 1 mL DWM-588-1 DWM-588-1
	ブromベンゼン	1,2-ジクロロエタン	m-キシレン	
	ブromクロロメタン	1,1-ジクロロエタン	p-キシレン	
	ブromジクロロメタン	1,1-ジクロロプロパン	sec-ブチルベンゼン	
	ブromホルム	cis-1,2-ジクロロエタン	スチレン	
	ブromメタン	trans-1,2-ジクロロエタン	tert-ブチルベンゼン	
	四塩化炭素	ジクロロジフルオロメタン	1,1,1,2-テトラクロロエタン	
	クロロベンゼン	1,2-ジクロロプロパン	1,1,2,2-テトラクロロエタン	
	クロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	テトラクロロエタン	
	クロロホルム	2,2-ジクロロプロパン	トルエン	
	クロロメタン	cis-1,3-ジクロロプロパン	1,1,1-トリクロロエタン	
	2-クロロトルエン	トランス-1,3-ジクロロプロパン	1,2,3-トリクロロベンゼン	
	4-クロロトルエン	エチルベンゼン	1,1,2-トリクロロエタン	
	ジブromクロロメタン	ヘキサクロロブタジエン	トリクロロエタン	
	1,2-ジブrom-3-クロロプロパン	イソプロピルベンゼン	トリクロロフルオロメタン	
	ジブromメタン	4-イソプロピルトルエン	1,2,3-トリクロロプロパン	
	1,2-ジブromエタン	塩化メチレン	1,2,4-トリクロロベンゼン	
	1,2-ジクロロベンゼン	ナフタレン	1,2,4-トリメチルベンゼン	
	1,3-ジクロロベンゼン	n-ブチルベンゼン	1,3,5-トリメチルベンゼン	
	1,4-ジクロロベンゼン	n-プロピルベンゼン	塩化ビニル	

メソッド 502 用の個別内部標準およびサロゲート標準

標準液	濃度	総容量	部品番号
2-ブrom-1-クロロプロパン 1,4-ジクロロブタン フルオロベンゼン 1-クロロ-2-フルオロベンゼン	1,000 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	STS-191-1 STS-201-1 STS-161-1 STS-451-1
2-ブrom-1-クロロプロパン 1-クロロ-2-フルオロベンゼン 1,4-ジクロロブタン フルオロベンゼン 塩化メチレン-d ₂	2,000 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	STS-190-1 STS-450-1 STS-200-1 STS-160-1 IST-510-1

推奨メソッド 502.2 内部標準混合物

説明	成分	総容量	部品番号
2 成分、2,000 µg/mL、 メタノール溶液	2-ブrom-1-クロロプロパン フルオロベンゼン	1 x 1 mL	STM-240N-1

推奨標準物質

メソッド 502.2	部品番号
標準液	DWM-580-1 DWM-588-1
内部標準	STM-240N-1

ヒントとツール

EPA メソッド標準について詳しくは、www.agilent.com/chem/standards をご覧ください。

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にご確認ください。

EPA メソッド 503.1

揮発性芳香族化合物および不飽和有機化合物

メソッド 503.1 は、揮発性芳香族および不飽和化合物の測定に適用可能です。高温光イオン化検出器付きの GC を用いたパーミアンドトラップメソッドです。

推奨メソッド 503.1 芳香族化合物およびアルキン混合物

説明	成分		総容量	部品番号
28 成分、200 µg/mL、 メタノール溶液	ベンゼン	4-イソプロピルトルエン	1 x 1 mL	DWM-503-1
	プロモベンゼン	ナフタレン		
	<i>n</i> -プチルベンゼン	<i>n</i> -プロピルベンゼン		
	<i>sec</i> -プチルベンゼン	スチレン		
	<i>tert</i> -プチルベンゼン	テトラクロロエテン		
	クロロベンゼン	トルエン		
	2-クロロトルエン	1,2,3-トリクロロベンゼン		
	4-クロロトルエン	1,2,4-トリクロロベンゼン		
	1,2-ジクロロベンゼン	トリクロロエテン		
	1,3-ジクロロベンゼン	1,2,4-トリメチルベンゼン		
	1,4-ジクロロベンゼン	1,3,5-トリメチルベンゼン		
	エチルベンゼン	<i>o</i> -キシレン		
	ヘキサクロロプタジエン	<i>m</i> -キシレン		
	イソプロピルベンゼン	<i>p</i> -キシレン		

芳香族炭化水素混合物

説明	成分		総容量	部品番号
16 成分、200 µg/mL、 メタノール溶液	ベンゼン	<i>n</i> -プロピルベンゼン	1 x 1 mL	DWM-550-1
	<i>n</i> -プチルベンゼン	スチレン		
	<i>sec</i> -プチルベンゼン	トルエン		
	<i>tert</i> -プチルベンゼン	1,2,4-トリメチルベンゼン		
	エチルベンゼン	1,3,5-トリメチルベンゼン		
	イソプロピルベンゼン	<i>o</i> -キシレン		
	4-イソプロピルトルエン	<i>m</i> -キシレン		
	ナフタレン	<i>p</i> -キシレン		

ハロカーボン混合物

説明	成分		総容量	部品番号
12 成分、200 µg/mL、 メタノール溶液	プロモベンゼン	1,4-ジクロロベンゼン	1 x 1 mL	DWM-563-1
	クロロベンゼン	ヘキサクロロプタジエン		
	2-クロロトルエン	テトラクロロエテン		
	4-クロロトルエン	1,2,3-トリクロロベンゼン		
	1,2-ジクロロベンゼン	1,2,4-トリクロロベンゼン		
	1,3-ジクロロベンゼン	トリクロロエテン		

推奨メソッド 503.1 内部標準およびサロゲート標準

説明	標準	総容量	部品番号	部品番号
			200 µg/mL	2,000 µg/mL
1 標準物質、メタノール溶液	a,a,a-トリフルオロトルエン	1 x 1 mL	STS-221-1	STS-220N-1

推奨標準物質

メソッド 503.1	部品番号
標準液	DWM-503-1
内部標準	STS-220N-1

EPA メソッド 504、504.1

EDB、DBCP、および123-TCP

メソッド 504 は 1,2-ジブromo-3-クロロプロパン (DBCP) および 1,2-ジブromoエタン (EDB) の低濃度測定に用いられます。このメソッドは抽出メソッドであり、キャピラリカラムと電子捕獲検出器を用います。メソッド 504.1 では、1,2,3-トリクロロプロパンが成分一覧に追加されます。

推奨 DBCP/EDB 混合物

説明	成分	総容量	部品番号 200 µg/mL	部品番号 2,000 µg/mL
2 成分、メタノール溶液	1,2-ジブromo-3-クロロプロパン 1,2-ジブromoエタン	1 x 1 mL 1 x 1 mL	DWM-504N-1	HCM-812-1

推奨メソッド 504.1 混合物

説明	成分	総容量	部品番号
3 成分、200 µg/mL、 メタノール溶液	1,2-ジブromo-3-クロロプロパン 1,2-ジブromoエタン 1,2,3-トリクロロプロパン	1 x 1 mL	DWM-514-1

ヒントとツール

7,000 種類を超えるアジレントの標準物質はすべて、ISO 17025 Guide 34 の下で製造されています。
www.agilent.com/chem/standards で全製品をご覧ください。

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 505

有機ハロゲン系農薬およびアロクロール

メソッド 505 は有機ハロゲン系農薬と市販の PCB の分析に用いられます。このメソッドはマイクロ抽出メソッドであり、キャピラリカラムと電子捕獲検出器を用います。

推奨メソッド 505 有機塩素系農薬混合物

説明	成分および濃度			総容量	部品番号	
12 成分、アセトン溶液	アラクロール	50 µg/mL	ヘプタクロル	20 µg/mL	1 x 1 mL	PPM-505D-1
	アルドリノ	20 µg/mL	ヘプタクロルエポキシド (B)	20 µg/mL		
	アトラジン	500 µg/mL	ヘキサクロロベンゼン	10 µg/mL		
	9-BHC (リンデン)	20 µg/mL	ヘキサクロロシクロペンタジエン	20 µg/mL		
	ディルドリン	20 µg/mL	メトキシクロル	200 µg/mL		
	エンドリン	20 µg/mL	シマジン	100 µg/mL		

推奨メソッド 505 有機塩素系農薬混合物

説明	成分および濃度			総容量	部品番号	
16 成分、アセトン溶液	アラクロール	10 µg/mL	ヘプタクロル	1 µg/mL	1 x 1 mL	PPM-505E-1
	アルドリノ	1 µg/mL	ヘプタクロルエポキシド (B)	1 µg/mL		
	アトラジン	250 µg/mL	ヘキサクロロベンゼン	1 µg/mL		
	9-BHC (リンデン)	1 µg/mL	ヘキサクロロシクロペンタジエン	1 µg/mL		
	a-クロルデン	1 µg/mL	メトキシクロル	5 µg/mL		
	9-クロルデン	1 µg/mL	cis-ノナクロル	1 µg/mL		
	ディルドリン	1 µg/mL	trans-ノナクロル	1 µg/mL		
	エンドリン	1 µg/mL	シマジン	250 µg/mL		

EPA メソッド 506

フタレートおよびアジピン酸塩エステル

メソッド 506 は抽出メソッドであり、キャピラリカラムと光イオン化検出器付きの GC を用います。

推奨メソッド 506 フタレート混合物

説明	成分	総容量	部品番号 1,000 µg/mL イソオクタン溶液	部品番号 200 µg/mL メタノール溶液
7 成分	ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) フタル酸ブチルベンジル フタル酸ジ-n-ブチル	1 x 1 mL	PSM-506-1	PSM-520-1

フタレート混合物

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
7 成分、メタノール溶液	ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) フタル酸ブチルベンジル フタル酸ジ-n-ブチル	1,200 µg/mL 250 µg/mL 250 µg/mL 100 µg/mL	フタル酸ジエチル フタル酸ジメチル フタル酸ジ-n-オクチル
		100 µg/mL 100 µg/mL 650 µg/mL	PSM-516-1

フタレート混合物

説明	成分	総容量	部品番号
2 成分、100 µg/mL、 アセトン溶液	フタル酸ブチルベンジル フタル酸ジ-n-ブチル	1 x 1 mL	PSM-510-1

フタレート混合物

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、1,000 µg/mL、 イソオクタン溶液	ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) フタル酸ブチルベンジル フタル酸ジエチル	1 x 1 mL	PSM-516-1
		フタル酸ジイソブチル フタル酸ジメチル フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ジ-n-オクチル	

フタレート混合物

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、1,000 µg/mL、 イソオクタン溶液	ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) フタル酸ブチルベンジル フタル酸ジエチル	1 x 1 mL	PSM-516-1
		フタル酸ジイソブチル フタル酸ジメチル フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ジ-n-オクチル	

推奨標準物質

メソッド 506	部品番号
標準液	PSM-506-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 507

窒素およびリン含有農薬

メソッド 507 は窒素およびリン含有農薬の測定に用いられます。このメソッドは抽出メソッドであり、キャピラリカラムと窒素リン検出器付きの GC を用います。

推奨農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
6 成分、1,000 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	アメトリン	フェナミホス	1 x 1 mL NPM-101-1
	シクロエート	メルホス	
	ジスルホン	プロメトン	

推奨農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
9 成分、1,000 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	アトラジン	プロメトリン	1 x 1 mL NPM-102-1
	ジフェナミド	プロバジン	
	EPTC	テルプトリン	
	エトプロブ	トリアジメホン	
	メビンホス		

推奨農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
9 成分、1,000 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	ブタクロール	メトリブジン	1 x 1 mL NPM-103-1
	カルボキシシン	ノルフラゾン	
	ダイアジノン	テルブホス	
	メトラクロール	バーナレート	
	MGK-264 混合異性体		

推奨メソッド 507 サロゲート標準液

標準	濃度	総容量	部品番号
1,3-ジメチル-2-ニトロベンゼン	250 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル溶液	1 x 1 mL	PPS-100-1

推奨メソッド 507 内部標準液

標準	濃度	総容量	部品番号
リン酸トリフェニル (TPP)	500 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル溶液	1 x 1 mL	PPS-110-1

ヒントとツール

EPA メソッド標準について詳しくは、
www.agilent.com/chem/standards をご覧ください。

EPA メソッド 508、508.1

塩素系農薬

メソッド 508 および 508.1 は塩素系農薬の測定に用いられます。これらのメソッドは抽出メソッドであり、キャピラリカラムと電子捕獲検出器付きの GC を用います。

推奨メソッド 508 有機塩素系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
17 成分、1,000 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	アルドリン	エンドスルファン I	1 x 1 mL PPM-508B-1
	a-BHC (a-HCH)	エンドスルファン II	
	b-BHC (b-HCH)	硫酸エンドスルファン	
	d-BHC (d-HCH)	エンドリン	
	9-BHC (9-HCH)	エンドリンアルデヒド	
	4,4'-DDD	ヘプタクロル	
	4,4'-DDE	ヘプタクロルエポキシド (B)	
	4,4'-DDT	メトキシクロル	
	ディルドリン		

推奨メソッド 508 内部標準液

標準	濃度	総容量	部品番号
ベンタクロロニトロベンゼン (PCNB)	100 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル溶液	1 x 1 mL	PPS-130-1

推奨メソッド 508 サロゲート標準液

標準	濃度	総容量	部品番号
4,4-ジクロロビフェニル (DCB)	500 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル溶液	1 x 1 mL	PPS-120-1

EPA メソッド 508A

ポリ塩化ビフェニル

メソッド 508A は PCB のスクリーニングに用いられます。このメソッドは抽出メソッドであり、パックドカラムまたはキャピラリカラムと電子捕獲検出器付きの GC を用います。

アロクロール 1260 原液

説明	溶液	総容量	部品番号 1,000 µg/mL	部品番号 5,000 µg/mL
1 溶液、メタノール溶液	アロクロール 1260	1 x 1 mL	PPS-141-1	PPS-140-1

デカクロロビフェニル原液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、1,000 µg/mL、トルエン溶液	デカクロロビフェニル	1 x 1 mL	PPS-150-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にご確認ください。

EPA メソッド 509

エチレンチオ尿素 (ETU)

メソッド 509 はエチレンチオ尿素 (ETU) の測定に用いられます。サンプルは、ケイソウ土のカラムを使用後、窒素リン検出器付きキャピラリカラムガスクロマトグラフィーで分析されます。

メソッド 509 内部標準

説明	標準	総容量	部品番号
1 標準、1,000 µg/mL、 0.1% w/v DTT、酢酸エチル溶液	3,4,5,6-テトラヒドロ-2-ピリミジンチオール	1 x 1 mL	IST-800-1

遊離基捕捉溶液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、1,000 µg/mL、 酢酸エチル溶液	ジチオスレイトール	1 x 1 mL	EPA-1390-1

メソッド 509 標準原液

説明	標準	総容量	部品番号 100 µg/mL	部品番号 1,000 µg/mL
1 標準、 0.1% w/v DTT、酢酸エチル溶液	エチレンチオ尿素	1 x 1 mL	PPS-640-1	PPS-641-1

機器性能チェック溶液

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
3 成分、 0.1% w/v DTT、酢酸エチル溶液	エチレンチオ尿素	10 ng/mL	1 x 1 mL GCM-170-1
	プロピレンチオ尿素	100 ng/mL	
	3,4,5,6-テトラヒドロ-2-ピリミジンチオール	1,000 ng/mL	

メソッド 509 サロゲート標準

説明	標準	総容量	部品番号
1 標準、100 µg/mL、 0.1% w/v DTT、酢酸エチル溶液	プロピレンチオ尿素	1 x 1 mL	PPS-642-1

EPA メソッド 515.1、515.2、515.3、515.4

塩素系酸

メソッド 515.1 および 515.2 は塩素系酸の測定に用いられます。これらのメソッドでは、抽出後に誘導体化が行われます。キャピラリカラムと電子捕獲検出器付きの GC が用いられます。

推奨メソッド 515.1 塩素系除草剤混合物

説明	成分および濃度	総容量	混合物	部品番号			
16 成分	アシフルオルフェン	100 µg/mL	3,5-ジクロロ安息香酸	100 µg/mL	1 x 1 mL	酸混合物、メチル tert-ブチルエーテル溶液	HBM-5155A-1
	ペンタゾン	200 µg/mL	ジクロルプロップ	300 µg/mL			
	クロランベン	100 µg/mL	ジノセブ	200 µg/mL	メチル化混合物、メチル tert-ブチルエーテル溶液	HBM-5155M-1	
	2,4-D	200 µg/mL	4-ニトロフェノール	100 µg/mL			
	ダラボン	1,300 µg/mL	ペンタクロロフェノール	100 µg/mL			
	2,4-DB	800 µg/mL	ピクロラム	100 µg/mL			
	ダクター (DCPA)	100 µg/mL	シルベックス (2,4,5-TP)	100 µg/mL			
	ジカンバ	100 µg/mL	2,4,5-T	100 µg/mL			

推奨メソッド 515.1 サロゲート標準液

説明	溶液	総容量	部品番号
2 溶液、100 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	2,4-ジクロロフェニル酢酸 (DCAA)	1 x 1 mL	PPS-160-1
	DCAA メチルエステル		PPS-161-1

推奨標準物質

メソッド 515.1	部品番号	メソッド 515.2	部品番号	メソッド 515.3	部品番号	メソッド 515.4	部品番号
標準液	HBM-5155A-1	標準液	HBM-5152A-1 HBM-5153A-1	標準液	HBM-5156A-1 HBM-5156M-1	標準液	HBM-5157A-1
内部標準	PPS-170-1 PPS-169-1	内部標準	PPS-172-1	内部標準	PPS-174-1 PPS-170-1	内部標準	PPS-174-1
サロゲート標準	PPS-160-1	サロゲート標準	PPS-162-1	サロゲート標準	PPS-167-1 PPS-168-1	サロゲート標準	PPS-167-1 PPS-168-1

アジレントへのご注文

ご要望の製品は、ホームページ www.agilent.com でいつでも検索できます。

リスト内に品目がない場合は、カスタム見積りをご依頼ください。

アジレントの製品およびご注文について情報が必要な場合は、経験豊富なカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。 www.agilent.com/chem/jp

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 521

ニトロサミン

メソッド 521 はニトロサミンの測定に用いられます。このメソッドでは、固相抽出と GC/MS を用います。

ニトロサミン混合物

説明	成分	総容量	部品番号
9 成分、2,000 µg/mL、 塩化メチレン溶液	N-ニトロソジ-n-ブチルアミン	1 x 1 mL	US-113N-1
	N-ニトロソジエチルアミン		
	N-ニトロソジメチルアミン		
	N-ニトロソジフェニルアミン		
	N-ニトロソジ-n-プロピルアミン		
	N-ニトロソメチルエチルアミン		
	N-ニトロソモルホリン		
	N-ニトロソピペリジン		
	N-ニトロソピロリジン		

推奨メソッド 521 サロゲート標準および内部標準

説明	標準液	総容量	部品番号	部品番号
			100 µg/mL	1,000 µg/mL
2 標準、 塩化メチレン溶液	N-ニトロソジメチルアミン-d ₆	1 x 1 mL		IST-760-1
	N-ニトロソジ-n-プロピルアミン-d ₁₄	1 x 1 mL	IST-771-1	IST-770-1

EPA メソッド 523

トリアジン系農薬

メソッド 523 はトリアジン系農薬とその分解生成物の測定に用いられます。これは固相抽出メソッドで、キャピラリカラム付きの GC/MS を用います。

メソッド 523 標準原液

化合物	濃度	容量	部品番号
アメトリン	1200 µg/mL、酢酸エチル溶液	1 x 1 mL	PST-024Y1200
アトラジン	2000 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-005Y2000
アトラジンデスエチル	1000 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-4010Y1000
アトラジン-デスエチルデスイソプロピル	100 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-6935Y100A01
アトラジン-デスイソプロピル	500 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-4005Y500
シアナジン	2000 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-1360Y2000
プロメトン	1200 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-830Y1200
プロメトリン	900 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-840Y900
プロバジン	2000 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-850Y2000
シマジン	500 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-1130Y500
シメトリン	840 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-1805Y840
テルブチラジン	2000 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-1705Y2000
テルブチラジンデスエチル	850 µg/mL、酢酸エチル溶液		PST-6850Y850

EPA メソッド 524.2、524.3、524.4

パージ可能有機化合物

メソッド 524.2 はパージアンドトラップ GC/MS メソッドで、キャピラリカラムを用いて VOC すべてを測定できます。

推奨メソッド 524.2 VOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号 200 µg/mL	部品番号 2,000 µg/mL		
60 成分、 メタノール溶液	ベンゼン	1,2-ジクロロベンゼン	ナフタレン	1 x 1 mL	DWM-580-1	DWM-588-1
	ブロモベンゼン	1,3-ジクロロベンゼン	n-プロピルベンゼン			
	ブロモクロロメタン	1,4-ジクロロベンゼン	スチレン			
	ブロモジクロロメタン	ジクロロジフルオロメタン	1,1,1,2-テトラクロロエタン			
	ブロモホルム	1,1-ジクロロエタン	1,1,2,2-テトラクロロエタン			
	ブロモメタン	1,2-ジクロロエタン	テトラクロロエテン			
	n-ブチルベンゼン	1,1-ジクロロエテン	トルエン			
	sec-ブチルベンゼン	cis-1,2-ジクロロエテン	1,2,3-トリクロロベンゼン			
	tert-ブチルベンゼン	trans-1,2-ジクロロエテン	1,2,4-トリクロロベンゼン			
	四塩化炭素	1,2-ジクロロプロパン	1,1,1-トリクロロエタン			
	クロロベンゼン	1,3-ジクロロプロパン	1,1,2-トリクロロエタン			
	クロロエタン	2,2-ジクロロプロパン	トリクロロエテン			
	クロロホルム	1,1-ジクロロプロパン	トリクロロフルオロメタン			
	クロロメタン	cis-1,3-ジクロロプロパン	1,2,3-トリクロロプロパン			
	2-クロロトルエン	トランス-1,3-ジクロロプロパン	1,2,4-トリメチルベンゼン			
	4-クロロトルエン	エチルベンゼン	1,3,5-トリメチルベンゼン			
	ジブロモクロロメタン	ヘキサクロロブタジエン	塩化ビニル			
	1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン	イソプロピルベンゼン	o-キシレン			
	1,2-ジブロモエタン	4-イソプロピルトルエン	m-キシレン			
	ジブロモメタン	塩化メチレン	p-キシレン			

推奨メソッド 524.2 VOC 混合物 – 改訂 4.1 追加

説明	成分	総容量	部品番号	
24 成分、2,000 µg/mL、 メタノール溶液	アセトン	2-ヘキサノン	1 x 1 mL	DWM-592-1
	アクリロニトリル	メタクリロニトリル		
	塩化アリル	アクリル酸メチル		
	2-ブタノン (MEK)	ヨウ化メチル		
	二硫化炭素	メタクリル酸メチル		
	クロロアセトニトリル	4-メチル-2-ペンタノン		
	1-クロロブタン	メチル-tert-ブチルエーテル		
	trans-1,4-ジクロロ-2-ブテン	ニトロベンゼン		
	1,1-ジクロロ-2-プロパノン	2-ニトロプロパン		
	ジエチルエーテル	ペンタクロロエタン		
	メタクリル酸エチル	プロピオニトリル		
	ヘキサクロロエタン	テトラヒドロフラン		

推奨メソッド 524.2 内部標準およびサロゲート標準混合物

説明	成分	総容量	部品番号 1,000 µg/mL	部品番号 2,000 µg/mL
3 成分、 メタノール溶液	1,2-ジクロロベンゼン-d ₄	1 x 1 mL	STM-321-1	STM-320N-1
	4-ブロモフルオロベンゼン			
	フルオロベンゼン			

推奨標準物質

EPA メソッド 524.2、524.3、524.4	部品番号
標準液	DWM-580-1 DWM-588-1 DWM-592-1
内部標準およびサロゲート標準	STM-320N-1



DWM-580-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にご確認ください。

安全飲料水法

フェーズ II、フェーズ V、フェーズ VIB 標準

これらの標準物質は、安全飲料水法 (SDWA: Safe Drinking Water Act) で規制される化合物の分析に最適です。

SDWA 揮発性混合物

説明	成分	総容量	部品番号
27 成分、2,000 µg/mL、 メタノール溶液	ベンゼン	エチルベンゼン	1 x 1 mL DWM-594-1
	プロモジクロロメタン	塩化メチレン	
	プロモホルム	スチレン	
	四塩化炭素	テトラクロロエテン	
	クロロベンゼン	トルエン	
	クロロホルム	1,2,4-トリクロロベンゼン	
	ジプロモクロロメタン	1,1,1-トリクロロエタン	
	1,2-ジクロロベンゼン	1,1,2-トリクロロエタン	
	1,4-ジクロロベンゼン	トリクロロエテン	
	1,2-ジクロロエタン	塩化ビニル	
	1,1-ジクロロエテン	<i>o</i> -キシレン	
	<i>cis</i> -1,2-ジクロロエテン	<i>m</i> -キシレン	
	<i>trans</i> -1,2-ジクロロエテン	<i>p</i> -キシレン	
	1,2-ジクロロプロパン		

規制対象の VOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号
12 成分、2,000 µg/mL、 メタノール溶液	ベンゼン	1,4-ジクロロベンゼン	1 x 1 mL DWM-590-1
	プロモジクロロメタン	1,2-ジクロロエタン	
	プロモホルム	1,1-ジクロロエテン	
	四塩化炭素	1,1,1-トリクロロエタン	
	クロロホルム	トリクロロエテン	
	ジプロモクロロメタン	塩化ビニル	

SDWA SOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号
6 成分、500 µg/mL、 アセトン溶液	ベンゾ[a]ピレン	ヘキサクロロベンゼン	1 x 1 mL SVM-500-1
	ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸	ヘキサクロロシクロペンタジエン	
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	ペンタクロロフェノール (2,000 µg/mL)	

フェーズ V 追加分 VOC 混合物

説明	成分	総容量	部品番号
3 成分、2,000 µg/mL、メタノール溶液	塩化メチレン	1 x 1 mL DWM-593A-1	
	1,1,2-トリクロロエタン		
	1,2,4-トリクロロベンゼン		

EPA メソッド 525.1

有機化合物

メソッド 525.1 は SOC の測定に用いられます。キャピラリカラム付きの GC/MS を用いる液/固抽出メソッドです。

推奨メソッド 525.1 PAH 混合物

説明	成分	総容量	部品番号 100 µg/mL	部品番号 500 µg/mL
13 成分、 アセトン溶液	アセナフチレン アントラセン ベンゾ[a]アントラセン ベンゾ[b]フルオランテン ベンゾ[k]フルオランテン ベンゾ[ghi]ペリレン ベンゾ[a]ピレン	クリセン ジベンズ[a,h]アントラセン フルオレン インデノ[1,2,3-cd]ピレン フェナントレン ピレン	1 x 1 mL	PM-525A-1 PM-525B-1

推奨メソッド 525.1 有機塩素系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号 100 µg/mL	部品番号 500 µg/mL
12 成分、 アセトン溶液	アラクロール アルドリ アトラジン α-クロルデン g-クロルデン g-BHC (リンデン)	エンドリン ヘプタクロル ヘプタクロルエポキシド (B) メトキシクロル trans-ノナクロル シマジ	1 x 1 mL	PPM-525C-1 PPM-525D-1

推奨標準物質

メソッド 525.1	部品番号
標準液	PM-525A-1 PPM-525C-1 PSM-525-1 RPCM-525-1 EPA-1161-1
内部標準およびサロゲート標準	ISM-310-1

テクニカルノート

メソッド 525 では、クロルデンの構成成分のうち 3 種のみを定量しますが、多くの場合、クロルデンを総クロルデン量として定量することが義務づけられています。そのような場合、アジレントはテクニカルクロルデンの標準物質も提供します。

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 525.2

有機化合物

メソッド 525.2 は SOC の測定に用いられます。キャピラリカラム付きの GC/MS を用いる液/固抽出メソッドです。

推奨メソッド 525.2 半揮発性化合物混合物

説明	成分	総容量	部品番号	
33 成分、100 µg/mL、 アセトン溶液	アセナフチレン アントラセン ベンゾ[a]アントラセン ベンゾ[a]フルオランテン ベンゾ[k]フルオランテン ベンゾ[ghi]ペリレン ベンゾ[a]ピレン フタル酸ブチルベンジル 2-クロロビフェニル クリセン ジベンズ[a,h]アントラセン	2,3-ジクロロビフェニル ビス(2-エチルヘキシル)アジピン酸 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) フタル酸ジエチル フタル酸ジメチル フタル酸ジ-n-ブチル 2,4-ジニトロトルエン 2,6-ジニトロトルエン フルオレン ヘキサクロロベンゼン 2,2',4,4',5,6'-ヘキサクロロビフェニル	2,2',3,3',4,4',6-ヘプタクロロビフェニル ヘキサクロロシクロペンタジエン インデノ[1,2,3-cd]ピレン イソホロン 2,2',3,3',4,5',6,6'-オクタクロロビフェニル 2,2',3',4,6-ペンタクロロビフェニル ペンタクロロフェノール (400 µg/mL) フェナントレン ピレン 2,2',4,4'-テトラクロロビフェニル 2,4,5-トリクロロビフェニル	1 x 1 mL SVM-525-1

推奨メソッド 525.2 有機塩素系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号	
29 成分、100 µg/mL、 アセトン溶液	アラクロール アルドリン アトラジン a-BHC b-BHC 9-BHC (リンデン) d-BHC	クロロベンジレート クロロタニル クロロネブ ダクターール (DCPA) 4,4'-DDD 4,4'-DDT 4,4'-DDE	ベルメトリン、混合異性体 (200 µg/mL) ディルドリン エンドスルフアン I エンドスルフアン II 硫酸エンドスルフアン エンドリン エンドリンアルデヒド エトリジアゾール cis-クロルデン trans-クロルデン ヘプタクロル ヘプタクロルエボ キンド メトキシクロル trans-ノナクロル シマジン	1 x 1 mL PPM-525E-1

推奨メソッド 525.2 窒素系/リン系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号
			100 µg/mL	1,000 µg/mL
6 成分、 アセトン溶液	カルボキシシン ダイアジノン ジスルホン	フェナミホス メルホス テルブホス	1 x 1 mL	NPM-525B-1 NPM-526-1

推奨メソッド 525.2 トキサフェン標準

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号
			1,000 µg/mL メタノール溶液	2,500 µg/mL アセトン溶液
1 成分	トキサフェン	1 x 1 mL	EPA-1161-1	PPS-240-1

推奨標準物質

メソッド 525.2	部品番号
標準液	SVM-525-1 PPM-525E-1 NPM-525C-1 NPM-525B-1 PPS-240-1 NPM-108B-1
内部標準およびサロゲート標準	ISM-510-1 ISM-511X

EPA メソッド 526

有機化合物

メソッド 526 は SOC の測定に用いられます。これは固相抽出メソッドで、キャピラリカラム付きの GC/MS を用います。

メソッド 526 キャリブレーション混合液

説明	成分	総容量	部品番号
11 成分、1,000 µg/mL、 酢酸メチル溶液	アセトクロール シアナジン ダイアジノン 2,4-ジクロロフェノール 1,2-ジフェニルヒドラジン ジスルホン	ホノホス ニトロベンゼン プロメトン テルブホス 2,4,6-トリクロロフェノール	1 x 1 mL SVM-526-1

推奨メソッド 526 内部標準液

説明	成分	総容量	部品番号
3 成分、500 µg/mL、 アセトン溶液	アセナフテン-d ₁₀ フェナントレン-d ₁₀ クリセン-d ₁₂	1 x 1 mL	ISM-520-1

推奨メソッド 526 サロゲート標準

説明	成分	総容量	部品番号
2 成分、500 µg/mL アセトン溶液	1,3-ジメチル-2-ニトロベンゼン リン酸トリフェニル	1 x 1 mL	ISM-690-1

一次希釈標準混合物

説明	成分	総容量	部品番号
11 成分、1,000 µg/mL、 酢酸エチル溶液	アセトクロール シアナジン ダイアジノン 2,4-ジクロロフェノール 1,2-ジフェニルヒドラジン ジスルホン	ホノホス ニトロベンゼン プロメトン テルブホス 2,4,6-トリクロロフェノール	1 x 1 mL SVM-526A-1

キャリブレーション混合液

説明	成分	総容量	部品番号
11 成分、1,000 µg/mL、 塩化メチレン溶液	アセトクロール アゾベンゼン シアナジン ダイアジノン 2,4-ジクロロフェノール ジスルホン	ホノホス ニトロベンゼン プロメトン テルブホス 2,4,6-トリクロロフェノール	1 x 1 mL SVM-527-1

推奨標準物質

メソッド 526	部品番号
標準液	SVM-526-1
サロゲート標準	ISM-690-1
内部標準	ISM-520-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 527

農薬および難燃剤

メソッド 527 は一部の農薬と難燃剤の測定に用いられます。これは固相抽出メソッドで、キャピラリカラム付きの GC/MS を用います。

推奨メソッド 527 農薬混合物 1

説明	成分	総容量	部品番号
16 成分、500 µg/mL、 酢酸エチル溶液	アトラジン プロマシル Asana (エスファンバレレート) ヘキサジノン マイレックス ノルフラゾン プロメトリン チオベンカルブ (ベンチオカーブ)	ピフェントリン S-ピオアレトリン (エスピオール) フェンバレレート ケボン ニトロフェン オキシクロルデン プロパジン ピンクロゾリン	1 x 1 mL PPM-527A-1

推奨メソッド 527 農薬混合物 2

説明	成分	総容量	部品番号
5 成分、500 µg/mL、 酢酸エチル溶液	クロルピリホス ジメトエート マラチオン	パラチオン テルブホススルホン	1 x 1 mL PPM-527B-1

推奨メソッド 527 サロゲート標準混合物

説明	成分	総容量	部品番号
3 成分、500 µg/mL、 アセトン溶液	1,3-ジメチル-2-ニトロベンゼン ペリレン-d ₁₂ リン酸トリフェニル (TPP)	1 x 1 mL	ISM-710-1

推奨メソッド 527 内部標準液

説明	成分	総容量	部品番号
3 成分、500 µg/mL、 アセトン溶液	アセナフテン-d ₁₀ クリセン-d ₁₂ フェナントレン-d ₁₀	1 x 1 mL	ISM-520-1

ヒントとツール

7,000 種類を超えるアジレントの標準物質はすべて、ISO 17025 Guide 34 の下で製造されています。
www.agilent.com/chem/standards で全製品をご覧ください。

EPA メソッド 528

飲料水中のフェノール

メソッド 528 はフェノールの測定に適用可能です。

このメソッドでは、固相抽出後にキャピラリカラム GC/MS を用います。

メソッド 528 フェノール標準原液

説明	成分	総容量	部品番号
12 成分、2,000 µg/mL、 塩化メチレン溶液	2,4,6-トリクロロフェノール	2-ニトロフェノール	1 x 1 mL PHM-500-1
	2,4-ジクロロフェノール	4-クロロ-3-メチルフェノール	
	2,4-ジメチルフェノール	4-ニトロフェノール	
	2,4-ジニトロフェノール	o-クレゾール	
	2-クロロフェノール	ペンタクロロフェノール	
	2-メチル-4,6-ジニトロフェノール	フェノール	

成分添加溶液

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
12 成分、 塩化メチレン溶液	2,4,6-トリクロロフェノール	100 µg/mL	1 x 1 mL PHM-501-1
	2,4-ジクロロフェノール	100 µg/mL	
	2,4-ジニトロフェノール	500 µg/mL	
	2,4-ジメチルフェノール	100 µg/mL	
	2-クロロフェノール	100 µg/mL	
	2-メチル-4,6-ジニトロフェノール	500 µg/mL	
	2-ニトロフェノール	100 µg/mL	
	4-クロロ-3-メチルフェノール	100 µg/mL	
	4-ニトロフェノール	500 µg/mL	
	o-クレゾール	100 µg/mL	
	ペンタクロロフェノール	500 µg/mL	
	フェノール	100 µg/mL	

メソッド 528 内部標準

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
2 成分、 塩化メチレン溶液	2,3,4,5-テトラクロロフェノール	2,000 µg/mL	1 x 1 mL PHM-502-1
	3-ニトロ-o-キシレン	1,000 µg/mL	

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 529

爆発物および関連化合物

メソッド 529 は爆発物および関連化合物の測定に用いられます。これは固相抽出メソッドで、キャピラリカラム付きの GC/MS を用います。

推奨メソッド 529 標準液

説明	成分	総容量	部品番号	
14 成分、100 µg/mL、 酢酸エチル溶液	2-アミノ-4,6-ジニトロトルエン 4-アミノ-2,6-ジニトロトルエン 3,5-ジニトロアニリン <i>m</i> -ジニトロベンゼン 2,4-ジニトロトルエン	2,6-ジニトロトルエン RDX ニトロベンゼン 2-ニトロトルエン 3-ニトロトルエン	4-ニトロトルエン 1,3,5-トリニトロベンゼン テトリル 2,4,6-トリニトロトルエン (TNT)	1 x 1 mL NAIM-529A-1

内部標準添加混合物

説明	成分	総容量	部品番号	
14 成分、200 µg/mL、 酢酸エチル溶液	2-ニトロトルエン 3,5-ジニトロアニリン 1,3-ジニトロベンゼン 2-アミノ-4,6-ジニトロトルエン 4-アミノ-2,6-ジニトロトルエン	2,4-ジニトロトルエン 2,6-ジニトロトルエン ニトロベンゼン 3-ニトロトルエン 4-ニトロトルエン	RDX テトリル TNT 1,3,5-トリニトロベンゼン	1 x 1 mL NAIM-530-1

キャリブレーション混合液

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
15 成分、 アセトニトリル溶液	2-アミノ-4,6-ジニトロトルエン 100 µg/mL 1,3-ジニトロベンゼン 100 µg/mL 2,4-ジニトロトルエン 100 µg/mL 2,6-ジニトロトルエン 100 µg/mL 4-アミノ-2,6-ジニトロトルエン 100 µg/mL HMX 200 µg/mL 2-ニトロトルエン 200 µg/mL 3-ニトロトルエン 200 µg/mL	4-ニトロアニリン 200 µg/mL 4-ニトロトルエン 200 µg/mL ニトロベンゼン 100 µg/mL RDX 200 µg/mL テトリル 200 µg/mL 1,3,5-トリニトロベンゼン 100 µg/mL 2,4,6-トリニトロトルエン (TNT) 100 µg/mL	1 x 1 mL NAIM-535-1

推奨メソッド 529 内部標準およびサロゲート標準

説明	成分	濃度	総容量	部品番号
4 成分	3,4-ジニトロトルエン	1,000 µg/mL、アセトニトリル溶液	1 x 1 mL	IST-701A-1
	1,2,4-トリメチル-5-ニトロベンゼン (2-プソイドクメン)	2,000 µg/mL、メタノール溶液		IST-706-1
	1,3,5-トリメチル-2-ニトロベンゼン (2-ニトロメシチレン)	1,000 µg/mL、メタノール溶液		IST-705A-1
	ニトロベンゼン- <i>d</i> ₅	1,000 µg/mL、ジクロロメタン溶液		IST-210-1

推奨標準物質

メソッド 529	部品番号
標準液	NAIM-529A-1
サロゲート標準	IST-705-1 IST-706-1 IST-210-1
内部標準	IST-704-1

EPA メソッド 531.1、531.2

N-メチルカルバモイルオキシムおよび N-カルバミン酸メチル

メソッド 531.1 および 531.2 は、N-メチルカルバモイルオキシムおよびN-カルバミン酸メチルの測定に用いられます。これらのメソッドでは、ポストカラム誘導体化および蛍光検出器を用いた、HPLC へのサンプルの直接注入を行います。

推奨メソッド 531.1 カーバメート農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
10 成分、100 µg/mL、メタノール溶液	アルジカルブ アルジカルブスルホン アルジカルブスルホキシド カルバリル カルボフラン	3-ヒドロキシカルボフラン メチオカルブ メソミル オキサミル プロボスキル (Baygon)	1 x 1 mL PPM-530-1

推奨メソッド 531.2 カーバメート農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
11 成分、100 µg/mL、メタノール溶液	アルジカルブ アルジカルブスルホン アルジカルブスルホキシド カルバリル カルボフラン 1-ナフトール	3-ヒドロキシカルボフラン メチオカルブ メソミル オキサミル プロボスキル (Baygon)	1 x 1 mL PPM-530C-1

SDWA カーバメート系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
2 成分、100 µg/mL、メタノール溶液	カルボフラン オキサミル	1 x 1 mL	PPM-530B-1

カーバメート系農薬混合物

説明	成分	総容量	部品番号
6 成分、100 µg/mL、メタノール溶液	アルジカルブスルホン アルジカルブスルホキシド アルジカルブ	カルボフラン メソミル オキサミル	1 x 1 mL PPM-251-1



PPM-530-1

内部標準液およびサロゲート標準液 (BDMC)

説明	溶液	総容量	部品番号	部品番号	部品番号
			100 µg/mL メタノール溶液	100 µg/mL アセトニトリル溶液	1,000 µg/mL メタノール溶液
2 溶液	4-プロモ-3,5-ジメチルフェニル N-カルバミン酸メチル (BDMC)	1 x 1 mL	PPS-180-1	PST-4015A100A01	PST-4015M1000

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にご確認ください。

EPA メソッド 532

フェニル尿素化合物

メソッド 532 はフェニル尿素化合物の測定に用いられます。これは固相抽出メソッドで、UV 検出器付きの HPLC を用います。

農業混合物濃縮液

説明	成分	総容量	部品番号
6 成分、5,000 µg/mL、 メタノール溶液	ジウロン フルオメツロン リニューロン	プロパニル シデュロン (異性体混合物) テブチウロン	1 x 1 mL PPM-255-1

推奨メソッド 532 標準液

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、200 µg/mL、 メタノール/アセトン溶液	ジフロベンズロン ジウロン フルオメツロン リニューロン	プロパニル シデュロン テブチウロン チジアズロン	1 x 1 mL PPM-532-1

推奨メソッド 532 サロゲート標準

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
			500 µg/mL メタノール/アセトニトリル 溶液	200 µg/mL メタノール/アセトニトリル 溶液	500 µg/mL メタノール溶液	5,000 µg/mL メタノール溶液
2 成分	カルバゾール モヌロン	1 x 1 mL	PPM-532A-1	PPM-536-1	PPM-533-1	PPM-534-1

農業混合物濃縮液

説明	成分および濃度	総容量	部品番号 メタノール溶液	部品番号 200 µg/mL アセトニトリル/アセトン溶液 (9:1)
8 成分	ジフロベンズロン ジウロン フルオメツロン リニューロン プロパニル シデュロン (異性体混合物) テブチウロン チジアズロン	100 µg/mL 100 µg/mL 100 µg/mL 100 µg/mL 100 µg/mL 200 µg/mL 100 µg/mL 100 µg/mL	1 x 1 mL	PPM-540-1 PPM-541-1

EPA メソッド 535

クロロアセトアニリドおよびその他のアセトアミド系除草剤分解物

メソッド 535 は、クロロアセトアニリドおよびその他のアセトアミド系除草剤のエタンサルホン酸 (ESA) およびオキサニル酸 (OA) の分解物の測定に用いられます。このメソッドでは、固相抽出と GC/MS を用います。

推奨 UCMR アセトアニリド系農薬分解物混合物

説明	成分および濃度				総容量	部品番号
6 成分、メタノール溶液	アセトクロール ESA	20 µg/mL	アラクロール OA	40 µg/mL	1 x 1 mL	PPM-535-1
	アセトクロール OA	40 µg/mL	メトラクロール ESA	80 µg/mL		
	アラクロール ESA	20 µg/mL	メトラクロール OA	10 µg/mL		

推奨メソッド 535 サロゲート標準および内部標準

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号
			20 µg/mL	100 µg/mL
個別標準、 メタノール溶液	ジメタロール ESA	1 x 1 mL	PPS-440-1	PPS-441-1
	ブタクロール ESA	1 x 1 mL	PPS-450-1	PPS-451-1

メトラクロール ESA 溶液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、100 µg/mL、メタノール溶液	メトラクロール ESA ナトリウム塩	1 x 1 mL	PST-1531M100A01

推奨標準物質

メソッド 535	部品番号
標準液	PPM-535-1
内部標準	PPS-450-1 PPS-441-1
サロゲート標準	PPS-440-1 PPS-441-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 536

トリアジン系農薬

メソッド 536 は液体クロマトグラフィー、エレクトロスプレーイオン化タンデム質量分析 (LC/ESI-MS/MS) メソッドであり、トリアジン系農薬およびその分解生成物の測定に用いられます。

メソッド 536 成分標準原液

化合物	濃度	容量	部品番号
アトラジン	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-005M500
アトラジンデスエチル	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-4010M500
アトラジン-デスイソプロピル	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-4005M500
シアナジン	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-1360M500
プロバジン	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-850M500

化合物	濃度	容量	部品番号
アトラジン-デスエチルデスイソプロピル	500 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-6935M500
シマジン	100 µg/mL、メタノール溶液	1 x 1 mL	PST-1130M100A01

メソッド 536 内部標準

化合物	濃度	質量	部品番号
アトラジン-デスエチル-d ₇	非希釈	1 x 10 mg	PST-6910-10MG
アトラジン-デスイソプロピル-d ₅ (エチル-d ₅)	非希釈	1 x 10 mg	PST-6915-10MG
シアナジン-d ₅ (n-エチル-d ₅)	非希釈	1 x 10 mg	PST-6920-10MG
プロバジン-d ₁₄	非希釈	1 x 10 mg	PST-6925-10MG

化合物	濃度	質量	部品番号
シマジン-d ₁₀ (ジエチル-d ₁₀)	非希釈	1 x 10 mg	PST-6950-10MG

ヒントとツール

EPA メソッド標準について詳しくは、
www.agilent.com/chem/standards をご覧ください。

EPA メソッド 539

飲料水中のホルモン

メソッド 539 はホルモン測定に用いられます。このメソッドでは、固相抽出の後、エレクトロスプレーイオン化タンデム質量分析 (LC/ESI-MS/MS) による液体クロマトグラフィーが用いられます。

メソッド 539 混合物 1

説明	成分	総容量	部品番号 100 µg/mL	部品番号 1,000 µg/mL
7 成分、メタノール溶液	4-アンドロステン-3,17-ジオン β-エストラジオール 17α-エチニルエストラジオール エキリン エストリオール エストロン テストステロン	1 x 1 mL	HMM-100A-L	HMM-100A-H

メソッド 539 混合物 2

説明	成分および濃度	総容量	部品番号
7 成分、メタノール溶液	4-アンドロステン-3,17-ジオン β-エストラジオール 17α-エチニルエストラジオール エキリン エストリオール エストロン テストステロン	30 µg/mL 40 µg/mL 90 µg/mL 100 µg/mL 80 µg/mL 100 µg/mL 10 µg/mL	1 x 1 mL HMM-100B-1

メソッド 539 サロゲート標準原液

化合物	濃度	質量	部品番号
17α-エチニルエストラジオール-2,4,16,16-d ₄	非希釈	1 x 10 mg	DRG-1185-10MG
ビスフェノール-A-d ₁₆	非希釈	1 x 10 mg	RCC-240-10MG

メソッド 539 内部標準

化合物	濃度	質量	部品番号
16a-ヒドロキシエストラジオール-d ₂	非希釈	1 x 10 mg	DRG-1190-10MG
テストステロン-d ₃ 非希釈 1 x 10 mg DRG-1195-10MG	非希釈	1 x 10 mg	DRG-1195-10MG

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 547

グリホサート

メソッド 547 はグリホサートの測定に用いられます。このメソッドでは、ポストカラム誘導体化および蛍光検出器を用いた、HPLC へのサンプルの直接注入を行います。

推奨メソッド 547 グリホサート溶液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、100 µg/mL、水溶液	グリホサート	1 x 1 mL	PPS-190-1

EPA メソッド 548、548.1

エンドタール

メソッド 548 はエンドタールの測定に用いられます。このメソッドでは、誘導体化後に液/固抽出メソッドを用います。キャピラリカラムおよび電子捕獲検出器付きの GC が使われます。メソッド 548.1 はこのメソッドの GC/MS 版です。

推奨メソッド 548 エンドタール溶液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、50 µg/mL、水溶液	エンドタール	1 x 1 mL	PPS-210-1

推奨メソッド 548.1 エンドタール溶液

説明	溶液	総容量	部品番号	部品番号	部品番号
			50 µg/mL メタノール溶液	1,000 µg/mL アセトン溶液	100 µg/mL メタノール溶液
1 溶液	エンドタール	1 x 1 mL	PPS-211-1	PST-1845K1000	PST-1845M100A01

推奨メソッド 548 内部標準液

説明	溶液	総容量	部品番号	部品番号
			10 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル 溶液	1,000 µg/mL トルエン溶液
1 ソリユーション	エンドスルファン I	1 x 1 mL	PPS-220-1	PST-501T1000

推奨メソッド 548.1 内部標準液

説明	溶液	総容量	部品番号	部品番号
			500 µg/mL	1,000 µg/mL
1 溶液、メタノール溶液	アセナフテン-d ₁₀	1 x 1 mL	ATS-111-1	ATS-112-1

推奨標準物質

メソッド 548	部品番号
標準液	PPS-210-1
内部標準	PPS-220-1 ATS-112-1
メソッド 548.1	
標準液	PPS-211-1
内部標準	ATS-111-1

EPA メソッド 549.2

ジクワットおよびパラコート

メソッド 549.2 はジクワットとパラコートの測定に用いられます。このメソッドは液相抽出メソッドで、HPLC および UV 検出器を用います。

推奨メソッド 549.2 ジクワットおよびパラコートの混合物

説明	成分	総容量	部品番号
2 成分、1,000 µg/mL、 水溶液	ジクワット (別名: ジプロミド) パラコート (別名: ジクロリド) (濃度は各農薬 1,000 µg/mL に補正)	1 x 1 mL	PPM-549-1

推奨標準物質

メソッド 549.2	部品番号
標準液	PPM-549-1

EPA メソッド 550、550.1

多環芳香族炭化水素

メソッド 550 は多環芳香族炭化水素の測定に用いられます。このメソッドは液相抽出メソッドで、蛍光分光光度計および UV 検出器を接続した HPLC を用います。メソッド 550.1 では液/個抽出を用います。

推奨メソッド 550, 550.1 PAH 添加混合物

説明	成分および濃度	総容量	部品番号	
16 成分、アセトニトリル溶液	アセナフテン	1,000 µg/mL	クリセ	
	アセナフチレン	1,000 µg/mL	ジベンズ[a,h]アントラセン	
	アントラセン	62.5 µg/mL	フルオランテン	
	ベンゾ[a]アントラセン	1 µg/mL	フルオレン	
	ベンゾ[b]フルオランテン	1 µg/mL	インデノ[1,2,3-cd]ピレン	
	ベンゾ[k]フルオランテン	1.25 µg/mL	ナフタレン	
	ベンゾ[ghi]ペリレン	5 µg/mL	フェナントレン	
	ベンゾ[a]ピレン	5 µg/mL	ピレン	
			62.5 µg/mL	
			1 x 1 mL	PM-551-1

推奨メソッド 550, 550.1 内部標準液

説明	溶液	総容量	部品番号	部品番号
			100 µg/mL	2,000 µg/mL
			アセトニトリル	アセトン溶液
			溶液	
1 溶液	4,4-ジフルオロビフェニル	1 x 1 mL	PPS-270-1	PPS-271-1

推奨標準物質

EPA メソッド 550、550.1	部品番号
標準液	PM-551-1
内部標準	PPS-270-1 PPS-271-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド 551.1

塩素化消毒副生成物および塩素化溶媒、およびハロゲン化農薬や除草剤

メソッド 551.1 は、塩素化消毒副生成物および塩素化溶媒の測定に用いられます。このメソッドは抽出メソッドであり、キャピラリカラムと電子捕獲検出器を用います。

推奨メソッド 551.1 消毒副生成物および塩素化溶媒の混合物

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号
			2,000 µg/mL アセトン溶液	100 µg/mL メチル tert-ブチルエーテル溶液
19 成分	ブロモクロロアセトニトリル ブロモジクロロメタン ブロモホルム 四塩化炭素 クロロホルム クロロピクリン ジプロモアセトニトリル ジプロモクロロメタン 1,2-ジプロモ-3-クロロプロパン (DBCP) 1,2-ジプロモエタン (EDB)	1 x 1 mL	HCM-551D-1	HCM-550-1
	ジクロロアセトニトリル 1,1-ジクロロ-2-プロパノン トリクロロアセトニトリル テトラクロロエテン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエテン 1,2,3-トリクロロプロパン 1,1,1-トリクロロ-2-プロパノン			

推奨メソッド 551.1 サロゲート標準液

説明	溶液	総容量	部品番号
1 溶液、 1,000 µg/mL、アセトン溶液	デカフルオロビフェニル	1 x 1 mL	IST-152-1

推奨標準物質

メソッド 551.1	部品番号
標準液	HCM-551-1 PPM-551B-1 EPA-1244-1 PST-1535M100A01
内部標準	STS-113-1 STS-115-1
サロゲート標準	IST-152-1

テクニカルノート

MTBE 抽出溶媒の市販量には、顕著な塩素化溶媒不純物、例えばクロロホルム、トリクロロエテン、四塩化炭素などが含まれます。こうした不純物が含まれる場合、通常は MTBE の二重蒸留によって取り除くことができます。

EPA メソッド 552、552.1、552.2、552.3

ハロ酢酸およびダラボン

メソッド 552、552.1、552.2、552.3 は、ハロ酢酸の測定に用いられます。このようなメソッドは、イオン交換-液/固抽出の後、GC プロセスを行います。キャピラリカラムおよび電子捕獲検出器を用います。

推奨メソッド 552 ハロ酢酸混合物

説明	成分	総容量	混合	部品番号	
8 成分	クロロ酢酸	ブロモ酢酸	1 x 1 mL	酸混合物	PHM-552A
	ジクロロ酢酸	ブロモジクロロ酢酸		メチル <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液、1,000 µg/mL	
	トリクロロ酢酸	ジプロモ酢酸	メチル化混合物	PHM-552M-1	
	2,4-ジクロロフェノール	2,4,6-トリクロロフェノール			メチル <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液、1,000 µg/mL

注: この混合物には、遊離酸またはメチル化された酸という 2 種の型があります。

推奨メソッド 552.2、552.3 ハロ酢酸混合物、サロゲートなし

説明	成分および濃度	総容量	混合物	部品番号			
10 成分	クロロ酢酸	600 µg/mL	ブロモクロロ酢酸	400 µg/mL	1 x 1 mL	酸混合物	PHM-5524M-1
	クロロジプロモ酢酸	1,000 µg/mL	ブロモジクロロ酢酸	400 µg/mL		メチル- <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液	
	ジクロロ酢酸	600 µg/mL	ジプロモ酢酸	200 µg/mL	メチル化混合物	PHM-5524M-1	
	トリクロロ酢酸	200 µg/mL	トリプロモ酢酸	2,000 µg/mL			
	ブロモ酢酸	400 µg/mL	ダラボン	400 µg/mL			メチル- <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液

注: この混合物には、遊離酸またはメチル化された酸という 2 種の型があります。

推奨内部標準およびサロゲート標準

標準	総容量	部品番号	部品番号	部品番号
		1,000 µg/mL メタノール溶液	1,000 µg/mL メチル <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液	2,000 µg/mL メチル <i>tert</i> -ブチルエーテル溶液
1,2,3-トリクロロプロパン	1 x 1 mL	PPS-250-1	PPS-251-1	RHH-039B2000

推奨標準物質

メソッド 552	部品番号	メソッド 552.1	部品番号	メソッド 552.2	部品番号	メソッド 552.3	部品番号
標準液	PHM-552A-1	標準液	PHM-5521A-1	標準液	PHM-5523A-1	標準液	PHM-5524A-1
内部標準	PPS-250-1	内部標準	PPS-251-1	内部標準	PHM-5524A-1	内部標準	PPS-251-1
サロゲート標準	PPS-261-1 PPS-290-1	サロゲート標準	PPS-300-1	サロゲート標準	PPS-251-1 PPS-390-1	サロゲート標準	PPS-430-1

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にご確認ください。

EPA メソッド 553

ベンジジンおよび窒素を含む農薬

メソッド 553 はベンジジンおよび窒素を含む農薬の測定に用いられます。このメソッドは抽出メソッドであり、パーティクルビーム HPLC/MS を用います。

メソッド 553 成分混合物

説明	成分	総容量	部品番号	
14 成分、5,000 µg/mL、 アセトニトリル/水溶液 (1:1 v/v)	ベンジジン	3,3-ジメチルベンジジン	1 x 1 mL	NPM-530-1
	ベンゾイルプロパチル	ジウロン		
	カフェイン	エチレンチオ尿素		
	カルバリル	リニューロン		
	o-クロロフェニルチオ尿素	モヌロン		
	3,3-ジクロロベンジジン	ロテノン		
	3,3-ジメトキシベンジジン	シデュロン (異性体混合物)		

メソッド 553 成分混合物

説明	成分および濃度	総容量	部品番号	
13 成分、 アセトニトリル/水溶液 (1:1)	ベンジジン	250 µg/mL	1 x 1 mL	NPM-531-1
	ベンゾイルプロパチル	350 µg/mL		
	カフェイン	300 µg/mL		
	カルバリル	1,000 µg/mL		
	o-クロロフェニルチオ尿素	750 µg/mL		
	3,3-ジクロロベンジジン	250 µg/mL		
	3,3-ジメトキシベンジジン	750 µg/mL		
	3,3-ジメチルベンジジン	350 µg/mL		
	ジウロン	450 µg/mL		
	リニューロン	1,300 µg/mL		
	モヌロン	400 µg/mL		
	ロテノン	3,200 µg/mL		
	シデュロン異性体混合物	450 µg/mL		

メソッド 553 サロゲート標準

化合物	濃度	質量	部品番号
3,3-ジクロロベンジジン-d ₆	非希釈	1 x 10 mg	RCC-307-10MG
ベンジジン環-d ₈	非希釈	1 x 10 mg	RCC-235-10MG
カフェイン- ¹⁵ N ₂	非希釈	1 x 10 mg	DRG-1180-10MG
DFTPPO	非希釈	1 x 10 mg	RAH-115-10MG

ヒントとツール

7,000 種類を超えるアジレントの標準物質はすべて、ISO 17025 Guide 34 の下で製造されています。
www.agilent.com/chem/standards で全製品をご覧ください。

EPA メソッド 554

カルボニル化合物

メソッド 554 はカルボニル化合物の測定に用いられます。このメソッドでは、誘導体化後に HPLC メソッドを用います。

推奨メソッド 554 カルボニル化合物混合物

説明	成分	総容量	部品番号
12 成分、1,000 µg/mL、 アセトニトリル溶液	アセトアルデヒド	ヘキサナール	1 x 1 mL ALD-554A-1
	ブタナール	ヘプタナール	
	シクロヘキサノン	ノナナール	
	クロトンアルデヒド	オクタナール	
	デカナール	プロパナール	
	ホルムアルデヒド	ペンタナール	

推奨標準物質

メソッド 554	部品番号
標準液	ALD-554-1

EPA メソッド 555

塩素系酸

メソッド 555 は塩素系酸の測定に用いられます。このメソッドでは、抽出後に HPLC メソッドを用います。

推奨メソッド 555 塩素系酸混合物 A

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、1,000 µg/mL、 アセトニトリル溶液	アシフルオルフェン	ジカンバ	1 x 1 mL HBM-555A-1
	ベンタゾン	ジクロロプロップ	
	クロランベン	ピクロラム	
	2,4-D	シルベックス (2,4,5-TP)	

推奨メソッド 555 塩素系酸混合物 B

説明	成分	総容量	部品番号
8 成分、1,000 µg/mL、 アセトニトリル溶液	2,4-DB	MCPP	1 x 1 mL HBM-555B-1
	3,5-ジクロロ安息香酸	4-ニトロフェノール	
	ジノセブ	ペンタクロロフェノール	
	MCPA	2,4,5-T	

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

EPA メソッド

EPA メソッド 556、556.1

カルボニル化合物

メソッド 556 および 556.1 は、カルボニル化合物の測定に用いられます。
これらのメソッドでは、誘導体化後に GC/ECD メソッドを行います。

推奨メソッド 556 アルデヒド混合物

説明	成分	総容量	部品番号
14 成分、100 µg/mL、 アセトニトリル/水溶液	アセトアルデヒド	ホルムアルデヒド	ノナナール
	ベンズアルデヒド	グリオキサール	オクタナール
	ブタナール	ヘキサナール	ペンタナール
	シクロヘキサノン	ヘプタナール	プロパナール
	デカナール	メチルグリオキサール	

推奨メソッド 556 サロゲート標準

説明	成分	総容量	部品番号	部品番号	部品番号
			20 µg/mL	10,000 µg/mL	20,000 µg/mL
1 成分、アセトニトリル溶液	2,4,5-トリフルオロアセトフェノン	1 x 1 mL	PPS-411-1	PPS-410-1	PPS-412-1

推奨メソッド 556 内部標準

説明	成分	総容量	部品番号
1 成分、10,000 µg/mL、 ヘキサン溶液	1,2-ジプロモプロパン	1 x 1 mL	PPS-400-1

推奨標準物質

メソッド 556、556.1	部品番号
標準液	ALD-556X
内部標準	PPS-400-1
サロゲート標準	PPS-410-1

EPA メソッド 557

飲料水中のハロ酢酸、臭素酸塩およびダラボン

メソッド 557 は、直接注入、イオンクロマトグラフィー、(陰性) エレクトロスプレーイオン化質量分析 (IC/ESI-MS/MS) メソッドであり、ハロ酢酸を測定します。ハロ酢酸と同時に臭素酸塩やダラボンも測定されることがあります。

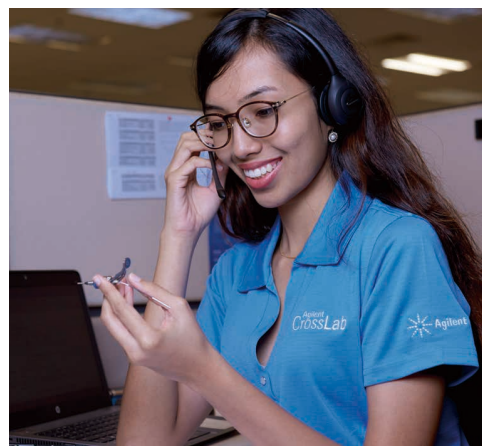
メソッド 557 標準原液

説明	成分	総容量	部品番号	
10 成分、1,000 µg/mL、 メチル tert-ブチルエーテル溶液	プロモ酢酸	ダラボン	1 x 1 mL	PHM-557-1
	プロモクロロ酢酸	ジプロモ酢酸		
	プロモジクロロ酢酸	ジクロロ酢酸		
	クロロ酢酸	トリプロモ酢酸		
	クロロジプロモ酢酸	トリクロロ酢酸 (別名: Cl)		

お客様第一のテクニカルサポート

ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーション、機器の修理、またはトラブルシューティングに関する質問にアジレントの技術者がお答えします。長年にわたるラボ経験を持つアジレントのテクニカルサポート担当者が、深い知識と経験にもとづいてお客様をサポートします。

本カタログに記載されている製品に関するご質問は、担当営業またはアジレントの販売店にお問い合わせいただくか**ホームページ**をご覧ください。



Agilent CrossLab サービス

稼働時間を最大化する総合サポート

Agilent CrossLab サービスのエキスパートにお任せいただくことで、機器の性能を最高の状態でご使用いただくことができます。機器の移行、アプリケーションのコンサルティング、修理、点検サービスなどの業界最高のサービスも提供しています。

詳細については、アジレントにお問い合わせください。

www.agilent.com/crosslab/jp/

詳細情報

ホームページ をご覧ください。

- 専門家によるテクニカルサポートについては、アジレント担当営業または販売店までお問い合わせください。
- お急ぎの場合は、電話でご購入および製品についてご相談いただけます。

※カタログには日本未発売の製品も掲載しております。ご注文時にはご確認ください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本カタログには日本未発売の製品も掲載しております。
ご注文時にはご確認ください。

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2020
Printed in Japan, January 10, 2020
5994-0618JAJP

